

岡庭総領事ペンサコーラ出張報告～航空宇宙産業が集積する北西部
(4月)

フロリダ州は全米で第二位の規模の航空宇宙産業を有し、その多くはケネディ宇宙センター周辺のスペース・コースト、及び、ペンサコーラ市を含む北西部に集中する。今回出張した北西部には、約500社の航空宇宙軍事関連企業が存在する。

ペンサコーラ市周辺は主要産業が観光、木材である。この地域に航空宇宙軍事関連企業が多く存在する最大の理由は、ここに三カ所の空軍基地とすべての米海軍航空飛行士を訓練する施設を含む6つの大規模軍事施設があるからである。北西部には、航空機の製造工場はないが、これら軍事施設で使用する軍用機等の整備補修に従事する関連企業が多数存在する。ボーイングやロッキード、ジェネラル・ダイナミックスのような大企業が当地に拠点を有する他、部品供給や点検、訓練などを担当する中小企業が多数存在する。この他、無人航空機を製造する新興企業もある。

ここに航空宇宙産業が集積するもう一つの理由は、これら軍事施設で勤務する軍人の多くは、比較的若くして退役（毎年約6000人の軍人が同地域で退役）し、全米でもっとも退役軍人が多い地域となっていることである。これら退役軍人が、地元の航空関連企業の人材の供給源となっている。もちろん、米国軍人が退役後この地に引き続き住み続けるのは、この地域は豊かな自然に恵まれ、土地や家の値段が比較的安価で、治安も良いといった環境を有するためである。

リーマン・ショックの際にこの地域は不動産不況により苦しめられた。この経験から、現在、同地域は経済多角化、特に航空宇宙産業の育成に力を入れており、スペース・フロリダ（州政府の航空宇宙産業振興局）が宇宙航空産業団地を設立する予定である。最近、ペンサコーラ市はシンガポールの航空機整備会社の整備工場の誘致に成功したが、同地域は、製造業の拠点としてまだ未開発である。地方政府の経済振興局関係者は、他の地域と比べて土地代、賃金などが低いことをアピールしていた。将来的に北西部に航空宇宙産業の進出が活発化する場合には、アラバマ州モビール市のエアバス工場、サウスキャロライナ州のボーイング工場、フロリダ州中央東海岸のエンブラエー工場等の米国南東部に所在する航空機製造工場に比較的近いという地理的利点が生かされる。

北西部に在日米軍基地在勤経験者が多数存在し、一般的に親日的な雰囲気強いことも踏まえると、日本の航空関連企業の輸出や海外投資の観点から、この地域にもっと注目すべきと考える。